



# 高知県理学療法士協会ニュース

No.180 2023・12・20 発行 公益社団法人 高知県理学療法士協会

## 50周年記念行事に<sup>っど</sup>集われたし

副会長 西村 敦司

本年度、令和6年2月12日に高知県理学療法士協会50周年行事として記念式典及び祝賀会を執り行う運びとなりました。

日本において理学療法士及び作業療法士法が施行されたのが昭和40年(1965年)、今年で58年が経過します。高知県では、翌昭和41年(1966年)、初の理学療法士が誕生し、高知リハビリテーション学院1期卒業生が高知県に就職された昭和46年(1971年)、「高知県理学療法士会(県士会)」が8名で発足されました。当初は互いの知識・技術向上を目的とした症例検討や実技講習を中心に会が開催されていたとのことです。会員数が少ない当時はそれぞれの医療施設はほとんど一人職場で大きくても数名のスタッフしかおらず、患者治療に邁進された時代だと推察します。現在のように便利なアイテムもなく、上手くいかないことの方が多かったのではないのでしょうか。その様な状況下ではありますが、昭和53年(1978年)には会員数43名となり、第13回日本理学療法士学会が開催されています。会員が少なくても全国学会ができる力強さを大きくアピールしており、先輩方の気骨に敬意を表すばかりです。同年には高知医療学院も開学となり、県内外を問わず医療人材育成に寄与することになります。その後、平成2年(1990年)に県士会は全国初の社団法人の許可を受け、平成22年(2010年)には会員数が1000名突破、現在は会員数1500名を超え、会員の生涯教育として各種研修会の企画・運営、学会開催などの学術活動、ニュースや機関誌を発行する広報活動、県民の保健・福祉・医療に関する様々な社会活動など幅広く公益に資する職能団体：高知県理学療法士協会(高理協)に至ります。

県士会が発足して52年が経過しこの間、日本は世界に類を見ないスピードで高齢化が進み、2000年からは介護保険法も施行されました。回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟、介護医療院など様々な制度改革が施行され、それに沿った治療戦略がその都度求められてきています。医療では手術や器具も進化し、後療法の考え方も様々な角度から研究が進み、疾患や治療技術、多様な情報は指先一つで簡単に入手できる時代となりました。また日本理学療法士協会も2022年度より生涯教育制度を改定し多様なニーズに応えられる人材育成を組織として開始しました。高理協もそれに応じた研修会・講習会を計画して実施しています。

諸先輩方が開拓した道の上を悠々と歩き、IT革命・情報社会の波に乗り、たくさんの情報の取捨選択に振り回されている今世。一方で、新型コロナウイルス感染症が蔓延しての3年間で生活スタイルに大きな影響を与え、個人の価値観や優先順位の変化を感じずにはられません。このような荒波のなかで3年遅れでの開催となりましたが、50年間という協会の歴史(活動)に感謝と敬意を払いつつ、これまでの50年・これからの50年を話し合う機会としても、多くの会員の皆様が高知県理学療法士協会50周年記念式典及び祝賀会にご参加いただけることを切に願っています。

### No. 180

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| ◇ 50周年記念行事に <sup>っど</sup> 集われたし …………… 1 | ◇ 第51回四国学会の座長を務めて…………… 7 |
| ◇ 施設紹介 …………… 2                          | ◇ 知読万恵 …………… 8           |
| ◇ リレー紹介 …………… 4                         | ◇ 山本双一会員が名誉会員に …………… 9   |
| ◇ 外部団体派遣委員の紹介 …………… 5                   | ◇ 所属施設における研修会開催の実情 …… 10 |
| ◇ 第37回高知県理学療法学会の案内 …………… 5              | ◇ 賛助会員の皆様 …………… 11       |
| ◇ リレーフォーライフ …………… 6                     | ◇ 編集後記 …………… 12          |

## 施設紹介 医療法人五月会 須崎くろしお病院

医療法人五月会 須崎くろしお病院 和田 譲



当院がある須崎といえば、しんじょう君、鍋焼きラーメンのイメージでしょうか。カツオ、ウツボ、メジカの新子などの新鮮な魚、ミョウガ（生産量は全国一）などもあります。県の中央部に住んでいる人には遠く感じられるようですが、高速道路の利用で高知インターから当院までは30分の距離です。高知市内から通勤している職員も比較的多くいます。

当院は地元根差した地域の二次救急病院です。病床数は158床で、急性期病棟、回復期リハビリテーション病棟、県内では高知市以外で唯一の緩和ケア病棟があり、急性期から終末期までの医療を担っています。

法人としては、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、グループホーム、居宅介護支援事業所を併設しており、リハビリテーションに特化した児童発達支援事業所（県内の医療法人では初）も開設しました。

全体では理学療法士37名、作業療法士21名、言語聴覚士9名のスタッフが在籍しています。平均年齢は35歳で、年代も様々になってきましたが、互いが協力し合う明るい職場です。



理学療法士スタッフの集合写真

理学療法部門としては、病院の理念である信頼・協調・奉仕のもと、臨床・教育・研究・職能活動をバランスよく伸ばしていくことを目指しています。臨床実習は県内外の養成校10校から受け入れており、地域リハビリテーション活動支援事業などの介護予防事業や、乳幼児検診などの自治体事業にも積極的に参画しています。



訓練室の風景

当院には野球、サッカーのチームがあり、リハスタッフがたくさん所属しています。夜さこいナイター野球大会では2017年に3部優勝、2020年に2部優勝の実績があり、現在は1部で戦っています。サッカーチームは2018年に職場対抗7人制サッカー大会で優勝経験があります。

須崎市の属する高幡医療圏域では、医療・介護・福祉に関わるサービス資源が十分とは言えませんが、地域の住民ができるだけ地元で必要なサービスを受けられるように取り組んでおり、今後も高幡圏域の中核となる病院として認められるように努力していきます。



7人制サッカーで優勝した時の写真



夜さこいナイター野球大会

コルセット・装具・義足・義手・杖

# 宮本義肢製作所

(社) 日本義肢協会 登録番号 中四国 143

代表者 門 脇 伸 仁

高知市土居町11-15 TEL & FAX (088) 833-6864

# 会員紹介

高知病院 松田 裕文

当初予定されていましたが、執筆者の代役に指名されました松田と申します。

私は、抗がん剤の研究で修士を取得し、その後、とある企業で研究業務に従事した後、理学療法士の世界に入りました。理学療法士としては、13年目になります。

私の現在取り組んでいる活動について、紹介させて頂きたいと思います。

現在は、『Web 3』という世界に投資家、実業家として、DAOに加わる形で関わらせて頂いています。

Web 3とは何かご存じない方も多いのではないのでしょうか？Web 3とは、Blockchain技術を活用したサービス群を指す言葉です。有名などころではBIT COINがその代表格になるのでしょうか。

世界ではBlockchain技術を用いて、様々なビジネスが誕生し、成長しています。7月には、東京でWeb Xというイベントが開催されました。Web Xとは日本最大の暗号資産・Web 3メディアCoinPostが企画・運営し、日本国内外の主要プレイヤー、スタートアップ、企業、投資家、政府関係者、メディア、一般来場者が一堂に会するアジア最大規模のグローバルカンファレンスです。そのイベントでは、岸田文雄内閣総理大臣の挨拶に始まり、萩生田光一政調会長、西村康稔経済産業大臣、平将明衆議院議員を始め、西村博之さん、成田悠輔さんなど、多くの著名人の方がシンポジストとして参加されました。そして、最後は小池百合子東京都知事の閉会の挨拶で閉幕しました。このように、政府関係者が参加するほど、世界では主要な産業になりつつあります。

このWeb 3の流れは、今や医療の分野にも流れ込んできています。今年1月に『超高齢社会の課題を解決する国際会議』が、経済産業省主催で行われ、Web 3時代のグローバルな医療・介護のデジタル化について話し合われました。

直近の目標として、2024年2月に日本国内で、Web 3のイベントが初めて開催されます。そこに、DAOのブースを出展することを掲げ、取り組んで行きたいと考えています。

それでは、次は私が理学療法士とキャンプを始めるきっかけをくれた友人であり、理学療法士としては先輩でもある石山雄一君にバトンを繋ぎたいと思います。よろしくお祈りします。

(受稿日：令和5年11月25日)



## リハビリテーション病院 すこやかな杜 行宗 裕

こんにちは、専門学校からの友人であり内田グループ同期そして親戚としてもお付き合いのある高橋涼子ちゃんからバトンを受け取りました。リハビリテーション病院 すこやかな杜で勤務している行宗裕と申します。男らしい名前ですがよく男性に間違われますが女性です。

私は高知リハビリテーション学院を卒業してすこやかな杜へ入社し8年目になります。すこやかな杜は入社時から病棟、外来、訪問と携わってきました。現在は病棟勤務に戻り回復期、生活期と経験したことをどのように患者様にいかしていけるのか、退院後の自宅環境をいかに入院時に把握し、より生活にあった福祉用具の提案や地域への関わりへ繋げていけるのか考える日々です。自分の力不足や勉強不足に悩むことも多いですが、職場の方達や同期の方達に助けをもらいながら元気に楽しく働かせていただいています。

プライベートでは一昨年入籍し、昨年8月には台風をなんとかかわしながら、無事晴れ空の中、結婚式を挙げることができました。新婚旅行にも行かせていただき京都・大阪・北海道と忙しくも楽しい時間を夫と過ごすことができました。コロナ禍で数年間、県外へ行くこともできなかったため夫と初めて行く県外を思う存分満喫することができました。毎日何気ない幸せを感じながら過ごしています。

以上、簡単ではありますが自己紹介とさせていただきます。次は専門学校からの友人であり、すこやかな杜同期と長い付き合いのあるリハビリテーション病院すこやかな杜の植木裕太君にバトンを回したいと思います。よろしくお祈りします。

※バトンを引き受けた会員の皆様は、令和6年1月15日までにkouhou@kopta.netまで原稿をお送りください。



## 高知県理学療法士協会 外部団体派遣委員紹介

委員名	氏名(役職名)
高知県がん対策推進協議会 委員	大畑 剛 (会 長)
高知県介護保険審査会 公益代表委員	和田 譲 (理 事)
高知市高齢者保健福祉計画推進協議会 委員	大畑 剛 (会 長)
高知県社会福祉協議会 評議員	八坂 一彦 (副会長)
高知県高齢者保健福祉推進委員会 委員	大畑 剛 (会 長)
高知県在宅緩和ケア推進委員会 委員	前岡 修二 (医療部長)
高知県高次脳機能障害支援委員会 委員	大畑 剛 (会 長)
高知市在宅医療・介護連携推進委員会 委員	西村 敦司 (副会長)
高知県災害リハビリテーションを考える委員会 委員	八坂 一彦 (副会長) 東 大和生 (理 事) 小笠原 正
高知県介護支援専門員研修等向上委員会	和田 譲 (理 事)
高知市介護認定審査会 委員	田中健太郎
高知県循環器病対策推進協議会 委員	大畑 剛 (会 長)
高知県スポーツ協会スポーツ医・科学委員会 委員	木下 雄介 (保健部長)



**第37回 高知県理学療法学会**  
The 37<sup>th</sup> conference of The Kochi Physical Therapy Association 2024.

**理学療法の未来図**  
学会長 竹林 秀晃 (土佐リハビリテーションカレッジ)

ー 事前参加登録のご案内ー

- 期 日：令和6年3月24日(日)
- 開催形式：対面とWebのハイブリッド開催
- 会 場：土佐リハビリテーションカレッジ (高知県高知市大津乙2500-2)
- 特別講演Ⅰ：「未来への舵取り～2040年の理学療法～」  
講師 森岡 周先生 (畿央大学大学院 健康科学研究科 教授)
- 特別講演Ⅱ：「身体と空間知覚」  
講師 繁樹 博昭先生 (高知工科大学 情報学部 教授)

※ 一般演題の申込期間が2023年12月27日まで延長されました。

※ 2023年12月2日より事前参加登録が開始されました。詳細は →



## リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023高知に参加して

会員 郷本 亮宏

突然ですが「2人に1人」、何の数字だと思われますか？これは2019年統計に基づいた、日本におけるがんの罹患率（男性65.5%、女性51.2%）です。リレー・フォー・ライフ・ジャパンは、がんを経験された方（サバイバー）と周りの支援者（ケアギバー）に対し、がんを乗り越え生きていることを祝福し(Celebrate)、旅立った愛する人たちを偲び(Remember)、がんで苦しむ人や悲しむ人を支援し立ち向かう(Fight Back)ことをめざすチャリティーイベントです。現在世界約32ヶ国、4500ヶ所で開催され、2019年度の日本国内52か所



写真の右側で旗を広げているのが私です

からの寄付は300億円にのぼりました。昨年度から新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたため、24時間のリレーや全国各地にイベント会場が設営され、現地での開催となりました。イベントの運営を支える協会や企業団体、多くの方々の努力や工夫があり、徐々に通常開催に戻りつつあります。

高知では10月14日～15日の2日間、春野総合運動公園にて開催されました。前日までは雨の予報でしたが、当日は時折小雨がパラパラと降る程度で、強い日差しの下より寧ろ快適に歩くことができました。

私は今回で5回目の参加でしたが、このイベントを通じて各病院のセラピストと交流できることは魅力の一つであり、参加者にとって交流の場としての貴重な位置づけとなっていると感じています。会場内での催し物も昨年に比べて増えており、各ブースでの交流や啓蒙活動など、サバイバーさん、ケアギバーさんに対し勇気と希望を与える場としての活気が戻りつつあるように感じ、嬉しく思いました。

今こうしている中でもサバイバーさん、ケアギバーさんはがんと向き合い、戦い続けています。「2人に1人」、家族、友人、自分自身が罹患しないとも限りません。自己の健康な身体に日々感謝しつつ、医療従事者として微力ながらも貢献できるよう、そしてリレー・フォー・ライフのイベントが一人でも多くの方々に認知・理解され、これからも更に大きな活動に発展されますことを願っています。



メッセージが描かれたルミナリエ（紙灯籠）

## 第51回四国理学療法士学会 座長を経験して



近森リハビリテーション病院 安村 広之

令和5年11月25日・26日に開催された「第51回四国理学療法士学会」に参加しました。

今回は縁があり学会の準備・運営に携わらせていただき、さらには初めて座長を務めさせていただきました。もう少し実績を積んでから…と不安はありましたが声をかけてもらえたことは大変光栄であり、お引き受けいたしました。

今学会は5年ぶりの高知開催かつ3年ぶりの対面のみで開催ということで、当日は沢山の方が来場されていました。私は初日の午後から神経系セクションを担当しました。1演題目から活発な質疑応答が行われ、白熱のあまり時間を超過してしまい進行の難しさを実感しました。セクション終了後には二人体制で行っていた、もう一方の座長の先生と意見交換もでき、大変貴重な経験をさせていただきました。また当日は朝から学会スタッフとして準備などに係わっており、慌たしさもあったため、座長の任は緊張する間もなく、あっという間に終わってしまったような感覚でした。今思えばもっとこうしたらよかった、こう言ったらよかった、など思うことは多々ありますが、ひとまず役割を終えることができほっとしたというのが正直な感想です。



コロナ禍におけるWEBでの学会では、演者と参加者の顔が分からないまま質疑応答が行われたり、チャットでのやりとりがリアルタイムで行えなかったりと、不便な面もあったと思います。今学会では参加者にマスク着用をお願いしていましたが、マスク越しであっても対面でお互いに顔を合わせ、質疑応答や活発な意見交換ができたこと、コミュニケーションが図れたことで、より有意義な時間になったのではないかと感じました。

今回の四国学会は私自身にとって非常に多くのことを学べた学会となりました。学会長である島岡先生をはじめ、係わって下さったすべての方に感謝を申し上げるとともに、この経験を今後の活動に活かし精進したいと考えています。





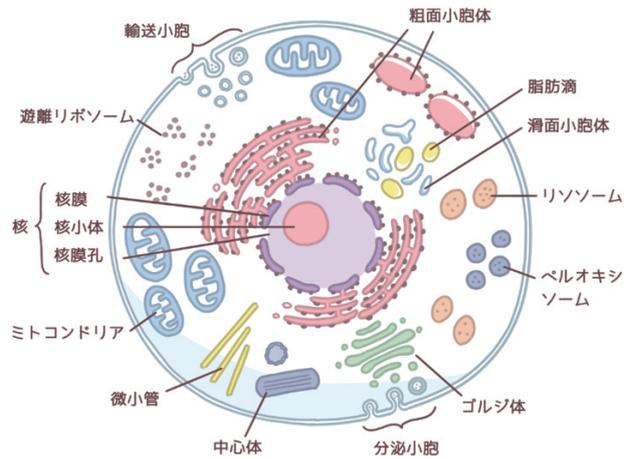
# 細胞はどう身体をつくったか

## 発生と認識の階層進化

〈実重重実, 新曜社, 2023〉

エビを料理するとき、先ずは「背ワタ」取りである。この背ワタ、脊髄のように思ってしまうが腹ワタ(腸)なのだ。節足動物では上が腹で下が背であり、脊椎動物はこれが入れ替わって上が背で下が腹となる。この時、同時に体の内側と外側も入れ替わり硬い外殻が骨となり体の内側中心にきたと考えられている。このことは過去にこのコーナーでも書いた話題であるが、原著では、腹側と背側が180°入れ替わったとある。こう考えれば、小生がずっと疑問に思っていた脳幹部での神経の左右交叉も説明が付きそうだ。なお発生学的には、頭(側)と尾(側)も入れ変わるとのこと。

もっとも、このことが書かれているのは原著のごく一部で、主題は生命体の元である細胞の話しである。原著を読めば細胞の概念が覆されて、学校で習った知識は何だったんだろうと思ってしまう。常識的に細胞膜の内側は水であると思いきや細胞の1/2が膜(小胞)であることや、DNAの核包を持つ細胞がミトコンドリアを取り込んだことは知っていてもこれほどに種々の物質を小胞体として取り込んで細胞が進化してきたことは驚きである。また、RNAが獲得形質の遺伝に関与することも述べられている。ただ、読みこなすにはいくぶん専門知識が必要で、イラストなどがもっと多ければ読者に理解されやすかっただろうに。



細胞の教科書的イラスト  
(<https://science-illustr.com/> フリー素材 から)

ミトコンドリアが細胞内に取り込まれたのは20億年前とされるが、46億年前に地球が誕生してからわずか6億年後には生物が生まれているのだ。人の腸内細菌だけでも100兆個あるとのことだが、地球表面は単細胞生物から植物・動物まで生物だらけである。いまは宇宙に生命の根元があるのではということからその探索に話題が集まって宇宙というマクロに興味に向いているが、細胞というミクロの世界も知らないことや解っていないことだらけの不思議な世界で、原著を読めば「ためになったネ～」となること請け合いである。

最後に著者名、洒落のきいたペンネームと思いきや、本名だった…！

(山本双一)

みんなが暮らしやすい住環境提案  
リフォーム&福祉用具



<https://aico.tosagas.co.jp/>



[あいこ]

土佐ガス株式会社

● 朝倉  
☎ 088-828-8580

〒 高知市朝倉西町1丁目10-16  
☎ 月曜～金曜 9:00～17:30 (祝日・年末年始を除く)

● しまんと  
☎ 0880-35-4372

〒 四万十市古津賀1丁目139  
☎ 月曜～金曜 9:00～17:30 (祝日・年末年始を除く)

## 山本双一会員が名誉会員に

理事 井上 佳和

本協会の山本双一氏が高知県理学療法士協会の名誉会員となりました。これは、去る6月18日に開催された定時総会において執行部より推薦があり、承認を受けてのものとなります。

山本双一名誉会員は昭和46年に理学療法士免許を取得後、昭和52年より高知県協会に所属されております。昭和53年からは理事に就任され、その翌年からは副会長ならびに事務局長を兼任され、以後26年間の長きに渡り、その職務を務められました。平成19年から26年までの8年間は本会の会長を務められており、任期期間中の平成24年には本協会の公益法人への移行にご尽力されました。当時、新入会員数が急激に増加する中で、部の新設など組織改編に着手され会員サービスを充実させるべくリーダーシップを発揮されました。会長退任後も監事を務められました。また、現在は初代事務長として本協会の事務機能を強化すべく助言をいただいております。

山本名誉会員は、日本理学療法士協会においても代議員などを務められており、長年の活動が認められ今年、日本理学療法士協会の名誉会員となられております。

このように40年近く事務局長、会長、監事という要職を歴任されたことで、本協会における全ての活動について精通されており、私たちの疑問に何でも答えていただける存在でいらっしゃいます。今後、歴史を重ねる中で高知県理学療法士協会はより成熟した組織になることが求められますが、山本名誉会員におかれましては、これからもお力添えをお願いするとともに、あわせて会員の皆さまにもご協力をお願いいたします。



## 所属施設における研修会（県協会承認）開催の実情

社会医療法人 仁生会 細木病院

リハビリテーション課教育委員長 田中 辰輔

当院のリハビリテーション課では、PT・OT・STそれぞれに教育委員を配置し、定期的に教育委員会を開催し職員教育・学生教育を積極的に行っております。

その教育委員の役割の1つに毎年、全体勉強会と各室（PT室・OT室・ST室）に分かれた勉強会を月1回以上、年間計画を立て開催しています。

その内のPT室勉強会は、去年度までは毎月45分間（業務後、17：45～18：30）で勉強会を開催していましたが、新生涯学習制度に移行してからは、60分間（業務後、17：45～18：45）に延長し登録PTの更新ポイント（1ポイント）が付与できるように変更しました。

具体的な運用方法は、開催予定日の1週間前までにPT室教育委員が担当講師と相談し、内容に近いカリキュラムコードを選択し、セミナー開催申請をしています。セミナー開催申請ですが、私は承認してもらえなかった壁が高く、かなり詳細に入力しないと否認されるのではないかと考えておりましたが、実際に申請してみるとそんなことはありませんでした。簡潔な内容で、大きくテーマや時間などが間違っていなければ、承認していただくと最近は感じています。今年度は、5回セミナー申請してみましたが否認はなく、円滑に作業もできています。開催形式は、現地+Zoomのハイブリッド形式で、休みの職員も参加できるようにして、Zoomの入退室管理や勉強会終了後の履修登録までPT室教育委員が行っています。現在、勉強会の講師は各領域の有資格者（認定PTや療養指導士など）が務め、専門性を高めています。今後は若手PTにも講師を担ってもらい、新しい知見を共有し、みんなで研鑽を継続していきたいと考えています。

勉強会を毎年開催する中で、参加率が課題ではありましたが、自施設で登録PTの更新ポイントに反映可能な勉強会を開催できることで、参加するメリットが増え、また内容も充実し参加率は上がってきています。

新生涯学習制度では、認定PT・専門PTの更新に加えて登録PTの更新も必要となり、時間や費用、子育てで外部の研修参加が難しいなど、色々な課題があります。自施設で無料の勉強会を開催でき登録PT更新に活かせることができるこの制度を、有効に活用していきたいと考えています。

また、登録PTだけでなく、前期研修・後期研修の現地研修や症例検討会も当院の課題であり、現在検討しています。新生涯学習制度を、他施設の取り組みなどの情報も聞きながら知ることで、全員が同じレベルに立てるように今後も取り組んでいきたいと考えています。

私たちは、**福祉用具のレンタル販売・住宅改修**などを通じて、

快適な在宅介護をお手伝いします。



株式会社 **トーカー**

高知営業所 事業者番号：3970104919

〒781-0087 高知県高知市南久保 14-10

TEL 088-885-6511 FAX 088-885-5943

<https://www.tokai-corp.com/>

**フリーダイヤル 0120-00-6500**

# 賛助会員の皆様

## 令和5年度賛助会員名簿

施設名	住所	診療科・他
(医)瑞洋会 田中整形外科病院	〒780-0901 高知県高知市上町3-2-6 TEL 088-822-7660 FAX 088-875-8583	整形外科、リハビリテーション科、麻酔科、 ペインクリニック内科、リウマチ科、内科(病棟)
(医)新松田会 高知医療学院	〒781-0270 高知市長浜6012-10 TEL 088-842-0412 FAX 088-841-1783	理学療法学科
(医)白菊会 白菊園病院	〒781-1154 土佐市新居萩の里1 TEL 088-856-1101 FAX 088-856-3364	内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、外 科、整形外科、脳神経外科、消化器外科、小児 科、リハビリテーション科
(医)仁智会 ヘルシーケアなはり	〒781-6402 高知県安芸郡奈半利町乙3740-1 TEL 088-738-5566 FAX 088-738-5564	入所、ショートステイ、通所(デイケア)
(学)土佐リハ学院 土佐リハビリテー ションカレッジ	〒781-5103 高知市大津乙2500-2 TEL 088-866-6119 FAX 088-866-6120	理学療法学科・作業療法学科
(社医)仁生会 細木病院	〒780-8535 高知市大膳町37番地 TEL 088-822-7211 FAX 088-825-0909	総合診療科、内科、外科、整形外科、小児科、 耳鼻咽喉科、緩和ケア科、放射線科、泌尿器科、 脳神経センター(脳神経外科)、専門外来、セ カンドオピニオン外来、病理診断科、麻酔科
(医)南の風 みなみの風診療所	〒780-0061 高知市栄田町3丁目7-1 TEL 088-826-3730 FAX 088-826-3731	リハビリテーション科、総合内科、在宅医療、 通所リハビリテーション、訪問リハビリテー ション
(医)五月会 須崎くろしお病院	〒785-0036 須崎市緑町4-30 TEL 088-943-2121 FAX 088-842-1582	内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科、眼 科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、リハビリ テーション科、放射線科、麻酔科、人間ドック
(医)新松田会 愛宕病院	〒780-0051 高知市愛宕町1-1-13 TEL 088-823-3301 FAX 088-823-3306	内科、外科、整形外科、脊椎外科、脳神経外 科、婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、心 療内科・精神科、皮膚科、ER蘇生センター
(学)高知学園 高知リハビリテー ション専門職大学	〒781-1102 高知県土佐市高岡町乙1139-3 TEL 088-850-2311 FAX 088-850-2323	理学療法学専攻・作業療法学専攻・言語聴覚 学専攻

## 編 集 後 記

年末の頃となり、年越しに向け心浮き立つ季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今号の巻頭言では、高知県理学療法士協会創立50周年記念式典に関して、西村副会長より開催にあたっての思いを綴っていただきました。私たちが生まれるずっと前からこの協会を立ち上げ、支え、理学療法士の変化を見つめてきた諸先輩方のお話を聞ける機会は滅多にありません。きっと刺激的な一日になると思います。祝賀会もかなり盛大に計画されているとか…期待が高まりますね(歓笑)

リレー紹介では、コロナ禍での入籍・新婚旅行という現代らしい話題も出てきました。私事ですが、私も今年の春に3年越しの結婚式を挙げた経緯があり、執筆者のお気持ちに大変共感いたしました。

7頁には、先月末に高知県で盛大に開催されました第51回四国理学療法士学会に関するフレッシュな記事も掲載しております。3年ぶりの完全対面での開催となり、その賑やかさもひとしおであったようです。私もこのコロナ禍で何度かリモート会議を運営したことがありますが、やはり意見交換の場は対面に限ると感じたことでした。

最後になりますが、今年も1年間大変お世話になりました。来年の高理協ニュースでは、更に盛り上げるべく会員参加型の催しも企画しておりますので楽しみに。それでは皆様良いお年をお迎えください。

(濱尾 英史)

公益社団法人  
高知県理学療法士協会

## 創立50周年記念式典・記念祝賀会

2024年2月12日(月・祝)

ザクラウンパレス新阪急高知 3階・花の間



詳細はこちら→

### お申し込み

QRコードもしくはURLからお申し込みください。

※申込み締切：2024/1/20(土)

<https://forms.gle/QqmYaXCGaRkJ9GhNA>



### お問合せ

申込みフォームがご利用になれない場合、何かご質問やご不明点がある場合は、下記までお問い合わせください。

E-mail : [kopt50th@gmail.com](mailto:kopt50th@gmail.com)

高知県理学療法士協会ニュース No.180 令和5年12月20日発行

発行所 公益社団法人 高知県理学療法士協会

〒780-0054 高知県高知市相生町1-25 レジデンスノナミ107号室

TEL & FAX (088) 879-8023

<http://www.kopta.net> e-mail:[jimukyoku@kopta.net](mailto:jimukyoku@kopta.net)

発行者 大畑 剛

広報部編集委員会

